



多摩川だより

平成 30 年
12 月 10 日
No.5

東京都島しょ農林水産総合センター振興企画室
〒100-0212 東京都港区海岸 2 丁目 7 番 104 号
Tel 03(3454)1953 Fax 03(3454)1955
ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

奥多摩湖の魚類相を調査しました

奥多摩湖

奥多摩湖（小河内貯水池）は、昭和 32 年に多摩川本流を小河内ダムによって堰き止めてできた、満水面積 4.25km² の多目的（水道、発電および水量調節など）ダム湖です。小河内ダムは多摩川河口より 89km の位置にあり、奥多摩湖の大部分は東京都に属しますが、満水時の湖面の一部は山梨県にも属しています。

奥多摩湖調査

東京都では奥多摩湖の魚類相の推移を把握するため、3 年に 1 度、刺網を中心とした調査を実施しています。平成 30 年はその調査年にあたり、9 月 5 日に留浦浮き橋左岸側に三枚網 12 反、ワカサギ網 2 反、ピンドウ 7 個を設置して、翌 6 日に網上げおよび回収を行いました。

調査の結果、スゴモロコ（123 尾）が最も多く採集され、次いでホンモロコ（39 尾）、ウグイ（26 尾）、ギンプナ（11 尾）、ワカサギ（9 尾）の順に続きました。その他にオオガタスジシマドジョウ、コイ、オイカワ、カマツカ、ナマズ、ウキゴリ、ヨ

シノボリ類、カジカ、ハス、スジエビ、テナガエビを少数、採集しました。

奥多摩湖湛水以降の本調査では、ウグイ、オイカワ、ホンモロコ、ワカサギの 4 種が主要な採集魚となっていました。しかし、前回の平成 27 年の調査では、平成 24 年に初記録となったスゴモロコが優占種となり、その傾向は今回も変わっていません。また、平成 8 年以降、採集されなかったハスが今回、採集されました。



図 2 最も多く採集されたスゴモロコ



図 1 調査地点の留浦浮き橋



図 3 平成 8 年以降、久しぶりに採集されたハス。全長 201mm